

### 第49回通常総代会を開催

～たくさんの想いをカタチに～

# 協同の力で、笑顔ひろがる 豊かなくらしを実現しましょう!



6月10日(水)吹田市文化会館メイシアターにて、第49回通常総代会を開催しました。総代506人中、493人が出席(本人出席207人、書面出席286人、委任出席0人)しました。冒頭、藪内理事長の挨拶、来賓を代表して株式会社イサミの北川介通社長にご挨拶をいただいたあと議案提案が行われ、提案した第1号～第6号の全議案が賛成多数で可決されました。総代から282通の意見が寄せられ、当日会場では6人の総代が発言しました。

議案	賛成	保留	反対
第1号議案 2025年度活動報告・決算報告及び剰余金処分承認の件	多数	7	1
第2号議案 2026年度活動方針・収支予算及び役員報酬決定の件	多数	10	2
第3号議案 役員選任の件	多数	9	2
第4号議案 定款の一部変更の件	出席総代の3分の2以上	6	0
第5号議案 公認会計士監査規約変更の件	多数	9	0
第6号議案 組合員除名の件	出席総代の3分の2以上	8	0



### 理事長挨拶 (要旨)

理事長 藪内 剛

いま、世界ではイランをめぐる情勢など、終わりの見えない軍事行動や対立が続いています。同時に、私たちの身近な社会でも、考え方の違いによる分断を、目にすることが増えました。大阪よどがわ市民生協は創立以来、一貫して「よりよきくらしと平和のために」という言葉を掲げてきました。平和であってこそ、日々の食やくらしの豊かさが実現できます。私たちは、自分とは意見の違う人も「同じ社会を創るパートナー」として尊重し合う、「お互い様」の考え方こそが、SDGsの目指す「平和と公正」の達成に欠かせないものだと思っています。

皆さんのおかげで、よどがわ市民生協は来年2月に50周年を迎えます。私たちの原点は、1977年。ここ北摂の地で、地域の皆さんが「自分たちの手で暮らしを良くしたい」と立ち上がった瞬間にあります。誰かに言われたからではなく、一人ひとりが主役となって動く。その「主体性」こそが、よどがわ市民生協が歩んできた半世紀の歴史そのものです。私たち役員や組合員が自ら活動を楽しみ、主役となって動くこと。その姿を見て、「なんだか楽しそう」「一緒にやってみたい」という共感の輪が自然と地域に広がっていく。そんな姿を目指しています。

### 2025年度主な取り組み

くらしの背景や組合員の想いに共感し、願いの実現に努力することを大切にしたい取り組みを進めました。

#### みんなが笑顔になる食やくらしを実現する事業

生産資材の高騰や農業従事者の減少などの問題から米の安定供給を守るため、『食料自給率の向上を重要政策とする』ことを要望する署名に取り組み、14,889筆の署名を政府に提出しました。

#### 知りたい、学びたいを大切に、誰もが参加できる活動

- 2027年完成予定の高城町新施設のお披露目会を行い、地域住民が交流しながら新施設を体感する場となりました。



### ありたい社会・地域づくりへの想いを広め、協同をすすめる

- 被爆・戦後80年という節目の1年でした。共に学び、考え、行動することで、平和について自分事として考える機会を大切にしました。



### 持続可能で発展し続ける生協をめざして、将来に備える

- 茨木畑田新支所の設置工事をすすめました。配送効率の向上、職員の労働環境改善をめざします。



### 〔2025年事業結果・2026年度予算〕

#### 決算

貸借対照表(要約) 2026年3月20日現在(単位:百万円。以下は切り捨て)

資産の部		
科目	金額	前年比
I 流動資産	7,210	91.9%
II 固定資産	5,100	122.6%
資産合計	12,311	102.5%
負債及び純資産の部		
科目	金額	前年比
III 流動負債	2,607	98.4%
IV 固定負債	442	96.6%
負債合計	3,049	98.1%
V 組合員資本	9,262	104.0%
出資金	4,695	101.2%
剰余金	4,567	107.1%
法定準備金	2,200	107.3%
任意積立金	1,659	114.7%
当期末処分剰余金(うち当期剰余金)	708(407)	92.3%(86.0%)
純資産合計	9,262	104.0%
負債及び純資産合計	12,311	102.5%

#### 損益計算書(要約)

2025年3月21日～2026年3月20日(単位:百万円。以下は切り捨て)

科目	実績	予算比	前年比
I 供給事業			
供給高	15,097	98.7%	99.0%
供給剰余金	4,434	98.1%	98.1%
II 福祉事業	37	96.8%	96.6%
福祉剰余金	14	97.9%	97.9%
III その他事業収入	531	101.7%	101.8%
事業総剰余金	4,979	98.5%	98.5%
IV 事業経費	4,504	93.8%	100.4%
事業剰余金	475	185.4%	83.5%
V 事業外収益	73	145.9%	112.7%
VI 事業外費用	4	63.0%	85.9%
経常剰余金	544	181.2%	86.5%
VII 特別利益	—	—	—
VIII 特別損失	2	32.7%	—
税引前当期剰余金	543	183.7%	86.3%
法人税等	131	—	85.8%
法人税等調整額	4	—	150.9%
当期損益	407	—	86.1%
当期首繰越剰余金	273	—	103.2%
任意積立金取崩額	27	—	96.4%
当期末処分剰余金	708	—	92.3%

#### 2026年度収支予算(要約)

(単位:百万円。以下は切り捨て)

科目	金額	前年比
I 供給事業		
1. 供給高	15,404	102.0%
無店舗事業	15,404	102.0%
2. 供給原価	10,943	102.6%
供給剰余金	4,461	100.6%
II 福祉事業福祉事業収入	38	103.3%
福祉事業費用	24	104.4%
福祉事業剰余金	14	101.4%
III その他事業収入	504	94.9%
事業総剰余金	4,979	100.0%
IV 事業経費計	4,828	100.6%
人件費	1,387	102.6%
物件費	3,441	109.2%
事業剰余金	151	31.7%
V 事業外収益	66	90.3%
VI 事業外支出	6	158.9%
経常剰余金	211	38.8%
VII 特別利益		
VIII 特別損失	5	
IX 税引前当期剰余金	206	37.9%

### 剰余金処分について

剰余金処分の基本的な考え方は、「組合員への還元」「働く人の労働環境改善」「事業発展・大規模災害備え」「地域・社会協同」という視点で積み立てを行うこととしました。利用分量割戻し金は、共同購入事業(ギフトなどを除く)年間利用高の0.4%、総額5,392万円とします。出資配当は、年平均出資金の0.3%、総額1,349万円とします。生協法の定めにより、法定準備金として1.5億円を積み立てます。

I. 当期末処分剰余金	7億 758万円
II. 剰余金処分量	
1. 法定準備金	1億5,000万円
2. 利用分量割戻金	5,940万円
3. 出資配当金	1,349万円
4. 任意積立金	
(1) 無店舗事業強化積立金	1,000万円
(2) 災害等損失積立金	2,000万円
(3) 施設開発改善積立金	1億円
(4) 広報強化積立金	1,000万円
(5) 50周年記念事業積立金	3,000万円
	3億9,288万円
III. 次期繰越剰余金	3億1,470万円

### ◆通常総代会で選任された役員◆ 新は新任

#### 【全体区理事 14人】

代表理事 理事長 藪内 剛  
 副理事長 川口 啓子  
 副理事長 内山 智美  
 代表理事 専務理事 佐藤 賢治  
 常務理事 新 彦阪 浩司  
 常勤理事 奥村 弘康  
 荒井 力、石倉 康次、新 副島 久実、山口 健一  
 足立 淳子、金子 真佳、西田 有紀子、吉田 敦子

#### 【地域区理事 12人】

新 正野 玲奈(高槻市)、池上 朝子(茨木市)、川西 由美子(茨木市)、新 横江 美恵(摂津市)、藤田 美佐子(吹田市)、森野 裕子(吹田市)、喜田 利史子(東淀川区)、宮前 ちづる(淀川区)、内田 比佐夫(西淀川区)、矢野 早春香(豊中市)、岩城 江美子(池田市)、上野 早予子(豊能)

#### 【監事 5人】

特定監事 黒田 由紀子  
 安齋 学、柏原 誠、新 高橋 徹、新 牧之瀬 寿恵

#### ◆退任された理事・監事のご紹介(50音順)

理事 中村 圭二朗さん、日下 初恵さん、藤本 周治さん、山口 あいさん  
 監事 木下 洋子さん、徳井 義幸さん

### 退任の挨拶

藤本 周治



私は、1988年4月に、よどがわ市民生協に入協し、職員として32年間・役員として6年間、お世話になりました。私が38年間、働き続けることができたのも、

組合員さんの指導・支えがあったからこそだと思っています。組合員を増やす活動をはじめ、野菜や果物をトラックに積んで販売する時に、一緒に行動し、よどがわ市民生協のことや産地を守ることに熱く語ってくれたことは、私自身の成長にもつながりました。「笑顔ひろがる 豊かなくらし」の実現に向けて、総代の皆さん、引き続きよどがわ市民生協をよろしく願います。